

2011年度

科目名	コンピュータ技術基礎Ⅱ			
担当教員	森本 洋介			
配当	教福1		コード	24007
開期	後期	講時	火曜日4限	単位数 2
授業テーマ	発展的・応用的なコンピュータの使用方法を習得する			
目的と概要	パソコンをより効率的・効果的に利用するために、コンピュータ技術基礎Ⅰで学んだ基礎知識および技術をさらに発展させ、実践的な課題に取り組みます。			
成績評価法	平常点 20点 USBメモリの提出(課題提出を含む)60点(Word、Excel、Powerpoint、ムービーメーカーの各テーマにつき個人課題を課す。各課題15点ずつ) グループ課題の発表 20点(10点×2回)			
テキスト	授業中に配布する。またオンライン資料を活用する。			
参考書	適宜紹介する			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	※各自で必ずUSBメモリを用意すること(授業で作成した課題等を保存し、全授業終了時に提出すること。評価対象とする。容量が大きなものを推奨する)。 ※課題は必ず提出すること。課題制作が授業のみで間に合わない場合、授業以外の時間を利用して課題を進めること。 ※第6回以降の授業は基本的にグループ活動です。 ※授業中の携帯電話の使用は禁止します。ルール違反に対しては、減点等厳格に対処します。 ・既習項目を完全に理解したうえで、各回の授業に臨んでください。授業時間以外でも、授業で使用するアプリケーションに触っておくこと。			
講義計画				
1) オリエンテーション Wordの活用1—名刺の作成 2) Wordの活用2—レポートや論文の作成(ページ設定、フォント、脚注機能等の実践。著作権) 3) Wordの活用3—企画書の作成 4) Excelの応用1—学校の授業で使用するようなワークシートの作成 5) Excelの応用2—配置図の作成 6) PowerPointの活用1—共同作業によるプレゼンの企画(グループ分けとテーマ設定)、アニメーションの設定と、効果的なプレゼンテーションの方法 7) PowerPointの活用2—プレゼンテーションの準備作業 8) PowerPointの活用3—プレゼンテーションの準備作業 9) PowerPointの活用4—プレゼンテーションおよびディスカッションその1 10) PowerPointの活用5—プレゼンテーションおよびディスカッションその2 11) Windows ムービーメーカーの利用1—グループ分けとテーマ設定。基本操作について 12) Windows ムービーメーカーの利用2—共同作業による発表準備(全体の構成の企画、撮影) 13) Windows ムービーメーカーの利用3—共同作業による発表準備(撮影と編集) 14) Windows ムービーメーカーの利用4—プレゼンテーションおよびディスカッションその1 15) Windows ムービーメーカーの利用5—プレゼンテーションおよびディスカッションその2				